



## 「企画研究」報告書

2022年7月26日

## 1. 基本情報

研究代表者 氏名:安藤宏	所属部局:人文社会系研究科
題目(和文・英文)	
(和文) 大江健三郎氏寄託資料に関する基礎的研究 (英文) Basic Research on Kenzaburo Oe's Manuscripts	
概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本研究は、本学出身の作家大江健三郎氏の原稿が2021年1月に人文社会系研究科に寄託されたことを受け、1万八千枚に及ぶ自筆原稿の基礎的調査・研究を行った。具体的には、自筆原稿のデジタル化、森昭夫氏の寄贈図書データベース化の作業を中心に進めた。</li> <li>期間中、人文社会系研究科および総合文化研究科の教員が複数回に渡り議論を交わし、協働で研究を進めたほか、文学研究と人文情報学の知見の融合もデータベース作成を通して実現することができた。またオープンセミナー(2022年4月)によって、その研究成果の一部を、本プロジェクトや本学以外の関係者と共有し、研究の可能性について高い評価を得た。またデータの整理の作業に人文社会系研究科の大学院生も参加し、直筆資料に接することで、一定の教育的効果を得ることができた。</li> <li>このような蓄積をもとに、今後もより発展的に研究を進めていく予定である。</li> </ul>	

## 2. 研究分担者

研究分担者	所属機関・職位
塚本昌則	人文社会系研究科・教授
研究分担者	所属機関・職位
阿部公彦	人文社会系研究科・教授
研究分担者	所属機関・職位
阿部賢一	人文社会系研究科・准教授
研究分担者	所属機関・職位
大向一輝	人文社会系研究科・准教授
研究分担者	所属機関・職位
武田将明	総合文化研究科・教授
研究分担者	所属機関・職位
村上克尚	総合文化研究科・准教授
研究分担者	所属機関・職位
唐沢かおり	人文社会系研究科・教授

### 3. 研究成果

#### 【口頭発表】

- ・ 村上 克尚「原稿から新たな読みの可能性へ——「空の怪物アグイー」を例として」、第 63 回 HMC オープンセミナー〈大江健三郎氏寄託資料の現在と未来〉、2022 年 4 月 16 日(土)、オンライン開催
- ・ 阿部 賢一「森昭夫氏の寄贈資料について」、同上。
- ・ 大向 一輝「人文学におけるデータ共有の可能性」、同上。

#### 【その他】

- ・ 2021年9月21日(火)、関係者のみを対象とするワークショップをハイブリッド形式で開催。山口和人(野間教育研究所)「大江さんとの 28 年——『大江健三郎全小説』まで」、尾崎真理子(早稲田大学)「大江健三郎作品の鉱脈」自由討論ほか。
- ・ データベースに関しては、撮影済みの6千枚の自筆原稿と活字資料のデータベースを紐付ける試行版が完成した。

### 4. 今後の研究の展望

本プロジェクトによって、自筆原稿のデジタル化、文字資料のデータベース化は一定程度実現することができた。2022 年度には第 3 次配分が採択されたため、同年度中に原稿の大部分のデジタル化が完成する見込みである。2022 年 10 月から始まる HMC での第二期のプロジェクトでは、これまでの基盤整備から研究へと重心を移す予定である。具体的には、大江健三郎文庫のデータベースの技術的な改良を図りつつ、大江文学の様々な解釈の可能性の探究、並びに文字資料の DX の可能性を探求することを試みたい。

HMC の他のプロジェクトとの協働に関しては、武田教授のプロジェクト「現代作家アーカイヴの構築と発信」が文学資料のアーカイヴという点で方向性が近いと見られ、次年度以降、より緊密に連携を図る予定である。また科研費の申請も視野に入れて、国内外の他の研究者（日本文学、人文情報学）との交流を通して、より汎用可能性の高いフォーマットの探求を目指したい。